

《テーマ設定発表会 概要》

2月4日土曜日に、第4回SSH学校公開として、1学年による学術研究 I 「テーマ設定発表会」があった。本格的な課題研究が始まってから初めての発表となる今回は、題材設定の理由やこれからの研究の展望について発表した。2年生や外部の方々も含めた先生方、そして同級生との活発な質疑応答により課題点に気が付くなど、今後の研究に向けてよい経験を得ることができた。

《各ゼミにおける発表の様子》

○物理ゼミ

全班が事前研究を丁寧に行ったことにより、有意義な発表会になった。質疑応答や助言も活発に行われ、今後の研究に繋がるヒントが得られたと思う。

○化学ゼミ

質疑応答において、先行研究や用語の理解が足りないこと、そして、テーマと研究内容の乖離に気付かされた。先生方から、必ず数値化を行うということ、また先行研究の引き継ぎのためオリジナリティを出すべきだという助言を頂いたので、今後の研究で考え、より一層良いものにしたい。

○生物ゼミ

どの班も専門的な内容が多く、様々な工夫も凝らしており、聴衆は熱心に耳を傾けていた。学年を問わず質問や助言を行い、内容の濃い発表会となった。多くの経験がある先輩方や外部の方からのコメントはとても参考になり、今後の研究に活かせる部分が多くあった。



発表の様子

○地学ゼミ

発表時の声量や質疑への対応において、問題なく取り組んでいる印象を受けた。しかし1年生からの質問が少なかったように感じられた。重要なアドバイスは「研究に使用する機材の扱いに慣れておくこと」かと思われる。

○数学ゼミ

数学という幅広い分野の中にも幅広い捉え方があり、多分野の研究内容がみられた。多くの先行研究が存在しているが、その中でもニッチな研究対象がみられ、互いの知見を深めることができる有意義な時間であったと言える。

○情報ゼミ

発表側も聴衆も互いに対する敬意を持って臨んでいた。先行研究に関する質問が多く、既存データの活用についての講評があった。質疑応答では、2年生や先生方からの助言、質問が多く、それを真摯に聞こうとする姿勢が見られた。



質疑応答の様子

○国語ゼミ

それぞれの班が要点を簡潔にまとめていて、興味をひいていた。しかし、声量や話し方については反省が残ったため、今後、それをもとにより良い発表をしていきたい。また、質問をもとにより詳しく、深い発表になるよう、ゼミ全体として努めていこうと思う。

○地歴ゼミ

研究の趣旨やテーマが明確で目的・意義がはっきりとしており、単なる調べ学習とならないような工夫も多く見られたのが良かった。先生からは「類型化」についての助言があり、実験から考えられることをパターン化し、情報を体系化した上で組み立てていくべきだと考える。

○公民ゼミ

発表の準備の際も、より良い発表に向けて、互いに改善策を提案し合っている様子がみられた。次の段階に向けて、これから調査を行い更により良い発表ができるようにしていきたいと今回の経験を通して強く感じる事ができた。

○英語ゼミ

質疑応答は活発かつ適切に行われており、研究における物事の定義や前程を問うものがあるなど、大いに参考になったと考えられる。講評としては、定義付けをはっきりとさせる、目的の社会的意義の再確認、実験対象の検討などが挙げられた。

○保体ゼミ

図や表を説明したり、方法を実践したりするなど口頭での発表内容に工夫が見られた。早い段階で実施することやテーマ案を複数用意していた方が良いという助言から、積極的かつ先のことを見据えていくことが大切だということを知ったと思う。

○音楽ゼミ

先生から、良い点としてスライドが見やすかった、悪い点として配布資料の文字が多いという指摘をいただいたので、より理解してもらいやすいように工夫をしようと思う。質疑応答で頂いた、研究内容や方法に関する多くの助言をもとに今後の研究をより深めていきたい。



発表会の様子



発表の様子

○家庭ゼミ

助言や質問には自分達では気付かなかった事や新しい視点が多かった。そのため、今後、テーマや研究方法において、継続すること、また変更すべきこと、新しく取り組むことを再確認し、今後の研究に役立てていきたい。

○災害研究ゼミ

どの学年からも積極的な質問があり、特に76回生からは今後の活動において重要な研究内容に関するものが多く、とても参考になった。先生方からは、助言をメモすること、発表時に要点をまとめたものを持っていくと良いことなどの講評があった。今後は、これらのことを生かして活動していきたい。

編集後記

今回の発表会を通し、知識や経験が豊富な第三者からの視座を得られることで、現時点での課題に気が付くことができました。2学年への進級を前に、本当に今がスタートラインだと思います。この度得た経験や課題を決して無駄にすることなく、これからの研究をより深く、優れたものにしていきましょう！！